

変わらなくてはならない

福島県立会津農林高等学校 1年 岡島 真優

何故今まで深く知ろうともしなかったのだろうか。私は自分に嫌悪感を抱きました。

みなさんは北朝鮮による日本人拉致問題と言えど何を思い浮かべますか？大体の人は名の通り北朝鮮が日本人を拉致した。と思ひ浮かべるでしょう。私もそう思ひ浮かべる者の一人でした。深く知ろうとせず、思ひ浮かべるだけ。これからもそうやって過ごしていくと思ひっていました。

「めぐみ」のDVDを見て、心が痛めつけられました。怒りで体が震えました。北朝鮮に拉致された当時、横田めぐみさんはまだ中学校一年生、十三才でした。暗闇の中で自分に今何が起きているか、これから何が起ころか分からない恐怖。大好きなお父さん、お母さんに会えない悲しさ。抱えきれないほどの恐怖と悲しさ、そして絶望感でいっぱいだったと思ひます。もし私だったらどうしようと身震いが止まりませんでした。DVDを視聴した夜、不安に駆られ思はず母に

「もし私が突然いなくなったらどうする。」

と聞いてしまいました。母は少し目を見開いた後

「そんなこと考えたことないし、考えたくない。」

と顔をしかめて答えていました。最愛の娘が突然いなくなることなど、両親は想像すらしないと思ひます。しかし、めぐみさんのご両親は最愛の娘を突然失ってしまったのです。なぜこのようなことが起ころったのか、真相は未だ闇の中です。

横田めぐみさんを含め、十七名の拉致被害者、そしてご家族は今この瞬間も再会を信じて闘っています。私たちは北朝鮮による日本人拉致問題を「知っている」だけで良いのでしょうか。思ひ浮かべるだけで良いのでしょうか。何も変わらなくて良いのでしょうか。いいえ、知ったからには変わらなくてはなりません。私たちにもできることがあるはずで。私はまだ自分にできることを見つけだせてはいません。しかし、この気持ちを持っているだけでも大きな一歩を踏み出せていると思ひます。拉致問題を決して忘れず自分にできることがあれば積極的に取り組む姿勢を忘れない、それだけで大きな一歩だと思ひます。

先日から私のカバンには「ブルーリボン」がついています。ブルーリボンは、拉致被害者とその御家族が、国境のない青い空と海を見上げて、無事に再会する時を願う意思表示です。私はこのブルーリボンと共に未だ解決されていない北朝鮮による日本人拉致問題への関心を高めていきたいと思ひます。忘れないでください。この問題について一番大切なのは関心を持つことです。思ひ浮かべて終わってしまうのではなく、その次へ進まなくてはならないのです。拉致問題が完全に解決するまで、私も皆さんと共に歩み続けます。